

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2011～2012年度 国際ロータリー Kalyan Banerjee (カルヤン・パネルジー) 会長テーマ
Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦世志朗
幹事 市川裕大
会報委員長 吉岡秀記

第2750回例会プログラム

[当年度=26回目；当月=4週目]

2012年（平成24年）2月27日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/5) ……創立記念例会
(プログラム委員会)

- 17:30～刈谷商工会議所2階ホール
(3/12) ……職場例会（職業奉仕委員会）
10:45 刈谷商工会議所出発
11:45頃～ 例会・食事（於：福助）
13:00～ 中部電力株式会社
「メガソーラーたけとよ」
および「武豊火力発電所」

- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話 「夢をあきらめない」
講師 北京オリンピック
シンクロナイズドスイミング日本代表
石黒由美子 様
(紹介者 木村 和司 会員)

14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言

- 13:30 17. 散会

出席

会員総数 89名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 81名
欠席 15名 出席率 81.48%
前々回(2/13)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 2月17日、刈谷市交通安全推進協議会に出席致しました。
2) 2月20～21日、刈谷市社会福祉協議会の役員研修会にて、視察研修に行っていました。
3) 2月20日、刈谷市緑化推進協議会に、杉山欣輝^{よして}環境保全委員長にご出席頂きました。

幹事報告

- 1) 刈谷 RC の会員証をメールボックスの中に入れてさせて頂きました。ご確認下さい。後期会費のご納入ありがとうございます。
2) 豊橋 RC より60年史がとどきました。ご覧下さい。
3) 本日例会終了後、理事会を開催致します。ご関係の皆様、よろしくお願い致します。

会長あいさつ

杉浦世志朗



本日の会長あいさつは、時間の都合上、次回にさせて頂きます。

夢をあきらめない

北京オリンピック・シンクロ競技日本代表
石黒由美子 様

はじめまして。石黒由美子です。

私は、小学生の時、交通事故で顔を540針、口の中を260針縫う大ケガをして、身体障がい者（視覚・聴覚・記憶・学習）となりました。フランケンとあだ名されたこともあります。でも病床で「夢ノート」に、

将来、シンクロナイズトスイミングの選手になると書いて頑張ってきました。

高校生になり、体が回復してきて、シンクロの成績も上がっていき、高2の時にJOCジュニアオリンピックカップで逆転準優勝して優秀選手賞を頂いてから急に力がついて、3年生になると、ジュニアのワールドカップ日本代表に選ばれてシアトルの大会にも出場させていただきました。

自信がつくと、友達も出来、学力も目に見えて上がり、愛知教育大学の推薦入学にトップ合格することができました。その副賞で授業料と入学金が免除になり、トップ合格はともかくとして、授業料等免除は「夢ノート」に書いていたことなので、本当に達成できたんだと嬉しかったです。

しかし、アテネオリンピック選考会で9位までがアテネ出場できるところを10位という成績で落としてしまい、挫折してしまいます。大学生活も上手くいかず、「私のいる場所なんてどこにもない」と思い、家を飛び出してしまいました。

一人生活を始めた時、インフルエンザにかかりもう死ぬと思った時、親しい先輩に助けてもらったことが人生観を変え、それがきっかけでシンクロに戻ることができました。この時、自分のためだけでなく、人のために頑張ろうと思ったのです。

もう一度選考会にチャレンジし、そして24歳で夢の北京オリンピックに出場することができました。その後25歳で小学校の教員になり、更に大学教員を目指すべく27歳で大学院生になりました。

これからも、様々なことに挑戦していく姿勢は、生涯変わらないでしょう。

私にとって、人生とは“挑戦”の連続です。苦労や苦難があるからこそ人は成長できるし、また、身体は年をとっても、心は一生青年のままでいられるのだと思います。

夢は叶えるためにある。どんなときも諦めないで挑戦していくことこそ、最高の幸福と勝利だと私は思います。

最後に母は、私のために何着も何着もシンクロの水着を手作りで用意してくれました。皆様のまわりにも、自分を支えてくれる方が必ずそばにいるはずです。その人のことを忘れない限り、そして、自分が信じる限り、夢

は叶います。皆様と一緒に「夢ノート」をつけてみませんか？

今日はありがとうございました。
これからも宜しくお願い致します。

